



# 三浦市議会だより

第 135 号  
 平成31年(2019年)2月1日  
 編集：議会だより編集委員会  
 発行：三浦市議会  
 〒238-0298  
 神奈川県三浦市城山町1番1号  
 ☎ 046(882)1111内線462・463



三崎漁港に水揚げされた冷凍マグロ

## 第4回定例会 三浦国際市民マラソン事業に関する調査特別委員会を設置

### 定例会の経過と概要

月日	曜日	会議名	内容
12月4日	火	本会議	会期の決定、決議案
5日	水	本会議	一般質問
6日	木	本会議	一般質問、議案の審議(説明・委員会付託)
7日	金	総務経済常任委員会	議案・陳情の審査
10日	月	総務経済常任委員会	議案・陳情の審査
		都市厚生常任委員会	議案・陳情の審査
12日	水	上水道事業に関する特別委員会	三浦市の上水道事業に関する審査
14日	金	本会議	議案の審議(総務経済・都市厚生の各委員長報告・採決)、人事案件(人権擁護委員)、三浦国際市民マラソン事業に関する調査特別委員会の設置、閉会中継続審査申し出、報告

平成三十年第四回定例会は、十二月四日から十四日までの十一日間を会期として開かれました。

今定例会では、市民交流センター条例など十五議案の審議を行いました。

また、初日の本会議では、木村謙蔵議員に対する遺憾決議を賛成多数で可決しました。(二面に掲載)

#### 〈議会だより第135号の内容〉

定例会の経過と概要	1面
常任委員会	2面
遺憾決議	2面
陳情の審査	3面
一般質問	3～5面
議会の活動から	6面
人事	6面
行政視察報告	6面
議会報告会	7面
全員協議会の開催	8面
特別委員会を設置	8面
次回定例会の予定	8面
議案等の審議結果	8面

# 常任委員会

## 議案の審査概要

### 総務経済

#### ◎三浦市民交流センター

本案は、市民の自発的な活動を活性化させ、人々の交流を育むための施設として三浦市民交流センターを設置し、その管理等に関して必要な事項を定めるものです。

(質疑の主な項目)

- ・多目的スペースの料金設定と、想定する利用方法について
- ・施設に常駐する職員数について
- ・市民交流センターの活用方法に関する、市民からの意見の反映について

#### ◎三浦市漁港管理条例等の一部を改正する条例

本案は、市が管理する漁港施設及び公共空地等並びに海岸保全区域の占用料等の額等について見直しを行うものです。

(質疑の主な項目)



### 都市厚生

#### ◎三浦市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

本案は、病院事業管理者の期末手当について見直しを行うものです。

(質疑は特にありません)

#### ◎三浦市道路占用料条例等の一部を改正する条例

本案は、道路法施行令の改正に伴い、道路占用料等の額等について見直しを行うもので、あわせて都市公園条例及び河川占用料条例を改正するものです。

(質疑の主な項目)

#### ◎三浦市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

以上三件は、本市一般職職員の給料及び勤勉手当、特別職員及び市議会議員の期末手当について見直しを行うもので、一括して審査を行いました。

・今回の改正による占用料収入の見込みについて

◎工事請負契約の締結について

本案は、三浦市沿岸卸売市場ほか改修工事について請負契約を締結するものです。

(質疑の主な項目)

- ・関係団体からの要望の反映について
- ・製氷施設を改修し、空素水を導入することについて



#### ◎平成三十年三浦市一般会計補正予算(第三号)

本補正は、歳入歳出それぞれ三億一千九百五十万九千円を追加するほか、繰越明許費の設定等を行うものです。

(質疑の主な項目)

- ・健康診査事業の委託料が増加した理由について

・今回の改正による増収額について

◎三浦市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

本案は、市立病院が行う介護保険事業に、訪問看護及び介護予防訪問看護を追加するものです。

(質疑の主な項目)

- ・訪問看護等に携わる医師及び看護師の体制について

◎平成三十年三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算(第二号)

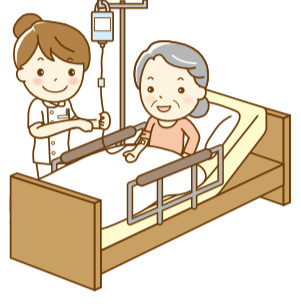
本補正は、歳入歳出それぞれ九百八十一万九千円を減額するものです。

(質疑は特にありません)

◎平成三十年三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)

本補正は、歳入歳出それぞれ九百四十四万一千円を追加するものです。

(質疑は特にありません)



・児童保育実施事業における補助の内容について

◎平成三十年三浦市市場事業特別会計補正予算(第三号)

本補正は、歳入歳出それぞれ七百四十万九千円を追加するほか、繰越明許費の補正を行うものです。

(質疑の主な項目)

- ・市場施設災害復旧事業の内容について

◎平成三十年三浦市介護保険事業特別会計補正予算(第二号)

本補正は、歳入歳出それぞれ七百三十二万九千円を追加するものです。

(質疑の主な項目)

- ・介護予防支援事業費が増加した理由について

◎平成三十年三浦市公民館水道事業特別会計補正予算(第一号)

本補正は、歳入歳出それぞれ六百二十五万九千円を減額するものです。

(質疑は特にありません)

◎後期高齢者医療事業そのものに反対しているが、本補正の歳出の全額が人件費であるため、本案に賛成する。



## 木村謙蔵議員に対する遺憾決議

平成三十年第三回定例会本会議において、「木村謙蔵議員に対する再度の辞職勧告決議」を決議した。これに対し、木村謙蔵議員は自身の議会報告「コンタクト」で「不当な勧告決議」と記載し、新聞折り込みにより市民に配布を行った。

「木村謙蔵議員に対する再度の辞職勧告決議」は、正式な議事手続により議決された三浦市議会の意思表示であり、これを「不当」と述べることは、三浦市議会を真つ向から否定する暴挙である。

三浦市議会では、昭和六十二年九月に中傷・デマ宣伝の防止を目的とした決議をしている。決議には、「相互の批判は、事実に基づき公明正大に行われるべきであり、いやしくも虚偽をねつ造し、事実をねじまげて批判することは、民主主義の精神に反し、正義と公正をふみにじる行為といわなければなりません」「今後かかる民主主義の原則に反することがないよう、事実に基づき公正、正義の立場で議会活動を行っていくことを議会全体で確認したものであります」との決意が述べられている。この決意は、当然ながら現在でも尊重すべき三浦市議会の指針として生きていくものであり、私たち議員は議会内での言動はもちろん、日常の議員活動においても遵守すべきものである。

昭和六十二年九月の決議は、過去の議会においても幾度となく取り上げられ、その意味が確認されている。平成十一年十二月の本会議でも、この決議が引用された経過があるが、このとき木村謙蔵議員は本市議会議員として在籍しており、決議の存在、意義については十分に承知していたはずである。

木村謙蔵議員が今回行った行為は、歴史ある三浦市議会の決意を否定する、三浦市議会議員としてあるまじき行為であると言わざるを得ない。

よって、木村謙蔵議員の行為に対しては、三浦市議会として遺憾の意を表明するとともに、木村謙蔵議員には、二度にわたる辞職勧告決議及び本決議を重く受け止め、速やかに自らの身を処すよう強く求めるものである。

以上、決議する。

### 常任委員会での陳情の審査結果

12月定例会では、新たに提出された陳情及び継続審査中の陳情、あわせて36件を審査しました。  
 今回、審査を終えた陳情は、次のとおりです。  
 そのほかの32件は、引き続き審査を行っていきます。

所管委員会	件名	結果
都市厚生	三浦市立病院拡充陳情書	審議未了
	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情(平成29年提出)	
	「介護労働者の労働環境改善及び処遇改善の実現」を求める陳情(平成29年提出)	
	国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情(平成29年提出)	

## 新たに提出された陳情

- ◎木村謙蔵三浦市議会議員に認められた議会の権威を取り戻すことを求める陳情(委員会付託なし)  
趣旨 本陳情は、表題の事項を三浦市議会として行うよう求めています。
- ◎「介護労働者の労働環境及び処遇の改善」のために国に対し意見書の提出を求める陳情
- ◎安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情
- ◎三浦市立病院拡充陳情書  
趣旨 本陳情は、表題の事項を求め、本陳情は、表題の事項を求めています。
- ◎横田ラプコンの撤廃を国に求める意見書の提出を求める陳情書(委員会付託なし)
- ◎「消費税増税中止を求める意見書」を国に提出することを求める陳情
- ◎神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情  
趣旨 以上六件の陳情は、表題の事項について、国または県に意見書を提出することを求めています。
- ◎国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情

## 一般質問 質問と答弁の要旨

一般質問とは、市政全般にわたって報告や説明を求めたり、疑問をたずねることをいいます。今定例会では、10人の議員が市政運営について市側の考えをたずねました。

### バリアフリーの三浦市に

ライトアップ、教育行政

無所属 下田 剛

**質問** バリアフリーの町は、誰にでも住みやすい「あったかいまち」に通じる。現在あるものを有効活用したバリアフリーの取り組みを要望する。観光客を受け入れる体制として、障害者等が利用できるトイレの整備が必要である。市の財政状況から、すぐに整備できないのであれば、障害者を持つ方の利便性を図れるよう、トイレマップを作成してはどうか。

**回答** 障害者等の有無を表示することを考えている。

**新たな名所に** 十一月九日、十日に、三浦青年会議所の取り組みにより城ヶ島大橋がライトアップされ、SNS等で多くの反響があった。

**質問** 教育現場への思いは新たに及川教育長が就任されたが、教育現場でのキャリアを生かし、手腕を発揮してほしい。

**回答** 学校におけるいじめの問題について、教育長の考えをお聞きした。

**経済部長** 現在、観光パーク

**保健福祉部長** オレンジ

### 桜まつりからの回遊

子育て賃貸住宅、エアコン設置

みづら市政会 長島 満理子

**質問** 毎年三十万人以上の来遊客が訪れる三浦海岸桜まつりは、二月五日から開催される。桜まつりに訪れた観光客を三崎、城ヶ島、油壺地区などへ回遊させ、滞在時間の延長と観光消費額の増加を図る必要があるが、どのような仕掛けを検討しているか。

**回答** 南下浦市民センター建て替えとあわせて子育て賃貸住宅を整備するための事業が進められている。

**質問** 交流の生まれる地域に

**質問** 教育環境の整備

**質問** 国の臨時交付金を活用し、市内の全小中学校にエアコンを設置することに。着実に設置をしてほしいと思うが、考えを伺う。

**市長** 前回の開催時は、みさきまぐろきつぷの利用者を中心に、桜効果として三崎地区まで観光客の利用が拡大したと聞いて

若い世代や子育て世代が住みやすい、三浦らしいあったかさのある地域づくりを期待するが、現在考えている子育て賃貸住宅のコンセプトは。

**教育長** 普通教室



三浦海岸桜まつり



城ヶ島大橋

### 国保の負担軽減を

幼児教育・保育、地域の拠点  
日本共産党 石橋 むつみ

**質問** 国民健康保険は、国民皆保険を支える重要な制度である一方、協会けんぽや組合健保などの被用者保険と比べて保険料が圧倒的に高い。被用者保険の保険料は収入と保険料率で計算しているが、本市の国保料(国保税)は所得割、均等割、平等割を合算している。今後、市として均等割や平等割をなくす、または軽減する考えはないのか。

**市長** 平等割や均等割を

廃止すれば加入者の負担軽減を図ることが出来るが、補填する財源が必要になる。提案は理解するが、現実には難しいと考える。

**子育てを支える**

**質問** 幼児教育・保育の無償化について、市ではどのように情報をつかんでいるのか。

全国市長会では、本件に関し、財源の保障等を求める要望を国に出している。三浦市としても、国に物を申し、しっかりと子供たちの保育を支えることが大事だと思う。市長 国からは無償化に

ついでに具体的な通知がないため、通知を受けた後に適切に対応したい。市長会で国に対する要望を出しているため、自治体にとって有益な制度となるよう要望したい。

**市民が集う場所に**

**質問** 現在、市は南下浦市民センターの場所に、公民館機能と併設した子育て賃貸住宅の整備に取り組んでいる。

この場所は公民館活動が大変盛んであり、海防陣屋の跡地や保護樹木など歴史的な要素も持つ。施設整備



南下浦市民センター

を足がかりに地域の発展を望むが、いかがか。市長 コミュニティーの拠点を継続することを前提に検討しており、海防陣屋跡や保護樹木は市民の貴重な財産として、可能な限り残したい。

### 三浦市の観光振興策

レンタサイクル、自治会活動  
無所属 寺田 一樹

**質問** 観光バスツアーは三浦市の魅力が大勢の方に知ってもらう機会になるが、「うらり」周辺エリアでは、対応できる店舗が限られている。

誘致の成果を逃がさないよう、対策を講じる必要があるのではないかと。市長 大規模なツアーでは市内の民宿やホテルを受け皿とする営業を行っているが、一方で、小規模な飲食店では、魚をさばく様子が近くで見られる等のだご味もある。

それぞれの特性を生かした取り組みをしていきたい。自転車の活用

**質問** 三浦市では、レンタサイクルの活用に取り組みしており、貸出車両の増車や新たなポートの開設計画など、人気は右肩上がりだと感じている。

レンタサイクルの利用増加による効果をどのようにとらえているか。市長 赤い自転車観光客が市内をめぐるとして三浦市の景観の一部として定着した感がある。レンタサイクルは、観光客の皆さんが、それぞれのスタイルで過ごし方



にぎわう「うらり」周辺

をプランニングできるツールである。レンタサイクルならではの回遊性向上と滞在時間の延長は、効果の一つだと思ふ。

**質問** 地域では、自治会を初め、子ども会、老人会など多様なコミュニティが形成されている。

地域コミュニティが衰退するお年寄りの見守り、ごみ出しなどで問題が生じる可能性も想定される。地域コ

ミニティー強化のための施策を伺いたい。市民部長 地域コミュニティの根幹は、自治会(区)の活動だと認識している。市としては、市民協働課に区長会事務局を置き、助成制度の利用や経営改善のための助言など、自治会運営の支援を行っている。

### 教室へのエアコン整備

事業承継、市民サービス  
公明党 藤田 昇

**質問** 災害規模の猛暑が続いていることから、過去の一般質問において、小中学校の普通教室へのエアコン設置を喫緊の課題として要望してきた。

今定例会で補正予算が上程され、エアコンの整備に取り組みることとなったが、市長の思いは。市長 また一歩、充実した学校生活のための環境を整えられると考えている。財源的には、教育委員会と市の財政当局で調整を継続している。

早期に実現ができるよう頑張りたい。

**市の支援策は**

継は第二の創業であると考えられる。市は、事業者の意見を聞きながら支援に取り組み、地域経済の活性化に資することができるよう要望したい。

事業承継実行に向けた最初のステップは動機づけと準備である。市で実施する事業承継セミナーでは、何か工夫している点があればお聞きしたい。市長 今回実施するセミナーでは、三浦商工会議所青年部を中心に参加の呼びかけをしている。

既に事業承継を済ませた先輩経営者に参加いただき、実体験を踏まえた準備の必要性について情報共有することで、動機づけを進めていきたい。

**質問** 事業承

おくやみコーナーの設置

他の自治体では、おくやみコーナーを設置して届出書の作成や各種手続を補助し、遺族の負担が軽減された例がある。本



各種手続を行う窓口

### いじめの防止策

地域活性化への支援  
みうら市政会 出口 眞琴

**質問** 二〇一七年度に全国の学校で認知されたいじめの件数は四十一万件を超え、過去最多となった。

最近 SNS 等でのいじめが深刻な問題となっているが、子供の携帯電話の使い方については、どのような対応をしているのか。教育部長 子供たちが正しい携帯電話の使い方について学ぶ機会として、ケータイ安全教室などを実施しており、保護者や

地域の方にも参加を呼びかけている。

**参加者から**

は、使い方のルールやマナーを親子で話し合う大切さを実感したという感想を多くいただいている。

早期の発見、対応を

は新たな観光の核づくり構想による県の支援を受け、地域の活性化に取り組んでいる。現在、小網代・油壺地域で活性化のための準備が始められているが、県の支援が油壺地区へ拡大する可能性はあるか。市長 三十一年度



油壺地区の活性化を

### 利用しやすい庁舎に

介護保険の利用方法、訪問診療

日本共産党 布川 照美

**質問** 市役所本館にはエレベーターがなく、高齢者や障害者、妊婦等への配慮が不十分だと考えるが、設置する予定はあるか。

また、第二分館へ行くには迂回しなければならぬので、直接渡れる通路を設置すると利便性が高まるのではないかと。

**市長** 本館へのエレベーター設置は必要だと考えるが、現実的には厳しい状況であることをご理解いただきたい。

第二分館への通路については、土地の高低差など多くの課題がある。今後、バリアフリーに配慮した庁舎利用の方法や部署の配置を検討していきたい。

**制度の周知**

**質問** 介護認定を受けるには、希望者やその家族が市町村に申請する。「自分はいつ介護認定を受けたいのか」と考える高齢者は多いと思うが、介護認定や介護サービス利用の流れについて、どのように周知しているか。

**保健福祉部長** 六十五歳

到達の際に送付する被保険者証にリーフレットを同封して周知している。また、申請から認定までの流れを掲載した「介護保険のあらまし」を作成し、配布している。

方針で検討している。また、当該医師は三浦市内で開業するので、市立病院との連携について調整を行っている。地域包括ケアを推進していくためにも、地域全体で体制を整備したい。

**質問** 市立病院で訪問診療を中心的に行っていた医師が、このほど独立して開業すると聞いた。



三浦市立病院

### 子育て支援の充実

小網代の森、二町谷地区利活用

日本共産党 小林 直樹

**質問** 市は、地域で子育ての援助を行うファミリーサポートセンターの事業化を検討している。非常に重要な事業であり、市が直接運営することも含めて検討をお願いしたい。

現在、事業者募集の条件設定などの検討をしているが、三十一年度の実施できるのか。

**保健福祉部長** ファミリーサポートセンターは子育て環境を充実させるために必要なものと強く認識している。

識している。現在、三十一年度中の開設に向け、委託あるいは市による運営などを検討している。

**事前学習の場**

**質問** 三崎高校跡地に整備される市民交流センターの中に、小網代の森インフォメーションスペースがつくられる。

**質問** 二町谷埋立地の多目的活用事業用地では、ヨットなどを係留するための浮桟橋が設置される。計画によっては海底

小網代の森に関する書籍を備えた学習コーナーやパネル展示のほか、実際に小網代の森に行きたくなるような映像を流すことを予定している。また、利用者が多い土日を中心に、説明員を配置する。

**十分な協議を**

**質問** 二町谷埋立地の多目的活用事業用地では、ヨットなどを係留するための浮桟橋が設置される。計画によっては海底

向上が期待できる。首都圏に位置する、高度衛生管理に対応した市場の優位性をPRし、また、関係漁協の意見を伺いながら三崎地区の水産振興を図っていきたい。

のしゅんせつなどに関して漁協との協議が必要になると考えるが、現状はどうか。  
**政策部長** みうら漁協内に地元漁業者で構成される二町谷利活用協議会が設置された。現在までに三回協議をしているが、事業に関する承諾はまだ得られていない。



小網代の森の魅力発信

### 市民活動の推進

子育て支援、地域の活性化

みうら市政会 神田 眞弓

※は欄外に説明を記載

**質問** 持続可能な社会実現のための国際目標SDGsが日本でも推進されている。

学校に行かずに働く外国の子供たちについて学んだ小学生が、収益金を寄附するため、姉妹都市須坂市とコラボした「つながるジャム」を企画・販売した。こういったSDGsの達成に寄与する市民活動に市はどのようにかかわっていくのか。  
**市長** この取り組みはSDGs達成に寄与すると

ともに、頼もしい市民活動だと思ふ。こうした活動も市民活動ポイント制度の対象に含めることを検討したい。

**療育の現状**

**質問** 鹿児島県伊佐市は子育て施策に力を入れており、子ども発達支援センターたんぼぼは保護者に信頼され、建物も内容も非常に充実している。発達障害などを抱えた子供の早期発見、早期療育は極めて重要である。三浦市の療育体制についてお聞きしたい。

**保健福祉部長** 三浦市中心

身障害児生活訓練会を三浦合同庁舎で開催しており、療育の研修等を受けた保育士が療育を実施している。また、月に一回程度、心理士等の専門職による会議を開き、対応等を検討している。

**みこしパレード**

**質問** 前定例会で質問したみこしパレードは、入船青年会が発起人となり、運営委員会が結成された。パレードをお披露目する場として、三崎港

**保健福祉部長** 三浦市中心



みこしパレードの実現を

### 三崎漁港の振興策

職員の処分、違反事業者への対応

みうら市政会 草間 道治

**質問** 市は三十億円近くの大規模投資を行い、沿岸卸売市場などの改修工事を行うが、近年、沿岸漁業が非常に厳しい環境にある中で、投資に見合った効果が得られるのか懸念される。

**市長** 今回の改修工事では、高度衛生管理化に対応することで品質の向上等が図られ、三崎ブランドの価値や価格形成力

向上が期待できる。首都圏に位置する、高度衛生管理に対応した市場の優位性をPRし、また、関係漁協の意見を伺いながら三崎地区の水産振興を図っていきたい。

**全容説明前の処分決定**

**質問** 三浦国際市民マラソンに係る不祥事について、不祥事を主導した元職員の懲戒免職処分が発表された。

**市長** 今回の改修工事では、高度衛生管理化に対応することで品質の向上等が図られ、三崎ブランドの価値や価格形成力

いて調査が可能になり、入手した資料等から裏金の私的流用を断定した。重大な非行が判明し、もはや看過できない状況にあると考え、懲戒処分を行った。

**入札参加の制限を**

**質問** 前定例会で質問した風致地区条例等に違反した事業者は、ほかに数々の法令に違反している。このような事業者が公共事業で利益を得ていることは問題であり、公共事業の入札参加を制限すべきだ。

**都市環境部長** 当



沿岸卸売市場の入札の様子

# 議会の活動から

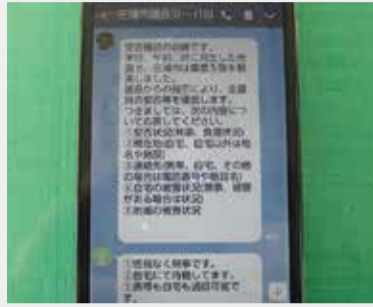
三浦市議会では、本会議や委員会のほかにも、さまざまな活動をしています。

## 防災訓練を実施 (二月十七日)

平成三十年十月から運用を開始した「三浦市議会災害時等行動マニュアル」に基づき、議会の防災訓練を行いました。

大規模な地震が発生することを想定し、この対応訓練を行いました。

初めに、自宅等でLINEを使った安否確認訓練を行いました。これはスマートフォンやタブレットに送られる安否確認のメッセージに、各議員が返信をするものです。



その後は、市役所の議場に参集し、本会議開会中の地震発生を想定して、安全確保・避難誘導の訓練や議会災害等対策本部の設置訓練を行いました。



訓練は、市の防災課職員が参観し、終了後には講評が述べられました。

今後、三月定例会中に訓練の結果をもとにした災害時等行動マニュアルの検証・見直しを行っていきます。

## 議会基本条例の検証 (十二月十二日)

市民と議会の関係や、議会に関する基本的事項などを定めた「三浦市議会基本条例」について、議会運営委員会

会で検証を行いました。

検証の結果、全委員が「現在の条例を改正する必要はない」という意見で一致しました。

また、議会報告会で中高生とのフリートークを



継続して行うことや議会の広報の充実等についての意見が出され、今後、改選後も含めて、継続して検討を行うこととしました。

## 現地視察を実施 (十二月十二日)

三崎町六合地内で建設が進められている三浦市一般廃棄物最終処分場を視察しました。

この最終処分場は、横須賀市とのごみ処理広域化に向けて建設しているもので、広域化がスタートする平成三十二年三月からの稼働を予定しています。

所管する都市厚生常任委員会を中心に九人の議員が現地に赴き、担当職員の説明を聞きながら、完成した貯留槽部分などを見学しました。



## 人事

市長より、次の方を人権擁護委員として法務大臣に推薦することにつき議会の意見を求める諮問が提出され、異議なき旨、答申しました。

人権擁護委員  
熊谷 武矢 氏



## 行政視察報告

総務経済、都市厚生、議会運営の各委員会が、先進的な取り組みをしている自治体の視察を行いました。また、本市を訪れた議会は、左下の表のとおりです。

### 総務経済常任委員会

十一月六日～七日に、山口県長門市の視察を行いました。

一日目には、長門市役所を訪問し、長門市が推進している「一市一農場構想」についての説明を受けました。

農業者の減少や高齢化が進む中、市全体を一つの農場と捉え、農地の集積・集約、法人による経営などを行うもので、推進の手法や農地集積バンク推進員の活動などを学びました。



### 都市厚生常任委員会

十一月一日～二日に、鹿児島県霧島市と伊佐市の視察を行いました。

霧島市では、いじめ問題対策支援について説明を受け、いじめを早期に発見するための工夫や、いじめ問題対策支援室の相談員の活動、幼稚園・保育園・小学校の連携等について先進事例を学びました。

伊佐市では、子ども発達支援センター「たんぼぼ」を見学し、子供の発達に対する早期の適切な

支援の重要性や、関係機関の連携方法、妊娠期間からの一貫した子育て支援体制等について話を伺いました。



第四回定例会では、一般質問で視察の成果を生かすことができました。

### 議会運営委員会

十月二十三日～二十四日に、滋賀県米原市と彦根市の視察を行いました。

米原市では、議会基本条例の検証と、議会改革実施計画の作成について話を伺いました。

彦根市では、議場開放の取り組みとして、議場コンサートと子ども議会について話を伺いました。三浦市議会で行う議会



基本条例の検証や、開かれた議会づくりの参考となる、さまざまな事例を開くことができました。

## 本市への行政視察 (平成 30 年 1 月～12 月)

平成 30 年に三浦市を行政視察で訪れた議会は、次のとおりです。

No.	月 日	市町名	視察事項	No.	月 日	市町名	視察事項
1	1 月 10 日	長野県須坂市	三浦市シティセールスプロモーション事業について 空き店舗活用事業 三浦市東京支店 なごみま鮮果について	7	5 月 23 日	静岡県袋井市	シティセールス、フィルムコミッションについて
2	1 月 12 日	島根県安来市	三浦市立病院の経営形態の見直しについて	8	5 月 28 日	岡山県玉野市	市立病院における経営改善策について
3	1 月 26 日	静岡県湖西市	市立病院の経営及び改革の取り組みについて	9	7 月 25 日	愛知県田原市	シティセールスについて
4	2 月 1 日	北海道旭川市	三浦市立病院の経営改善について	10	10 月 23 日	熊本県長洲町	防災対策等について
5	5 月 9 日	沖縄県石垣市	三浦市低温卸売市場 水産業・漁港を核とした振興ビジョン	11	10 月 30 日	滋賀県彦根市	「市立病院経営形態の見直し」について
6	5 月 15 日	長野県軽井沢町	市立病院の経営状況について	12	11 月 2 日	山形県東根市	三浦市都市計画マスタープランとまちづくり条例について

# 議会報告会を開催しました

平成三十年十月十三日、十四日の二日間にわたり、市内三地区で議会報告会を開きました。

共通テーマ「三浦市の災害対策について」の報告のほか、会場別テーマを定め、テーマに関係する方々とのディスカッションや意見交換を行いました。

### 初声地区

開催日：十月十三日(土)  
会場：潮風アリーナ  
参加対象者：三浦ケアマネ連絡会、三浦通所事業所連絡会、三浦訪問介護事業所連絡会、聖隷訪問看護ステーション油壺  
参加者数：二十名  
(ほか傍聴一名)

地域づくりが大切というところがあり、地域によって地域防災委員がうまく動いている。  
「四つ葉」グループ  
・ 独居の方の確認について、民生委員と介護事業者のつながりをもう少し密にとれたらいいと思う。  
・ 避難所に発電機はあがるが使える人はいるのか、病人が行った際に薬などはあるのかということ、備蓄品についてが今後の課題であるという話があった。  
・ 寝たきりの方等は、避難所ではなく、介護施設や宿泊施設に収容できるシステムを考えてほしい。

### 会場別テーマ「介護と防災」について

○災害発生時の各施設での対応や課題、考える点について、三グループに分かれてディスカッションを行い、結果を発表していただきました。

### 「さくら」グループ

・ 施設での対応はできている。問題は、在宅の方に市からどれだけの情報が流れているか。  
・ 地区の役員だけではなく、福祉職や子供関係、障害関係の人を入れてマニュアルづくりをする場があればありがたい。

### 「ハート」グループ

・ 三・一をきっかけに話が進んだ。独居の方には、二人対応で訪問をした。  
・ 地域の災害状況が把握できるシステムがあるとよい。



ディスカッションの様子

・ 災害時の透析患者の対応について話があった。病院に行く方法がなかった場合、市内のデイサービスや施設の送迎車を利用できないか。  
アンケートから  
・ これからも、いろいろな立場の人たちと組み合わせを変えて話し合う場があるといいと思う。  
・ 初めて議会報告会に参加した。さまざまな業者、分野の方と三浦市を考える場があることは大変有意義であると思う。

**三崎地区**  
開催日：十月十四日(日)  
会場：市役所議場  
参加対象者：市内中高生及び青少年  
参加者数：十名  
(ほか傍聴五名)

### 会場別テーマ「文化・スポーツ」について

○身近な文化やスポーツについて、二グループに分かれてディスカッションを行い、結果を発表していただきました。  
**黄色班**  
・ 部活動では、棒高跳びの際に使用するマットが古くて使用できず、違う種目に転向せざるを得ない人

もいる。設備を充実させてほしい。  
公園などにもバスケットボールのゴールをつくってほしい。  
市民スポーツ大会などは若者の参加が減ってきているので、ダンスの大会を開催するなど交流の場をつくってほしい。  
図書館では、子供から大人まで誰もが同じ空間にいることから、学習をするのには向いていないと感じている。部屋を区切るなどの工夫をしてほしい。  
学習室として市民センターの一部を開放

### 南下浦地区

開催日：十月十四日(日)  
会場：三浦建設業組合 組合会館  
参加対象者：三浦建設業組合  
参加者数：十七名

### 会場別テーマ「災害時における協働体制」について

### ○質疑応答

議員：平成六年に三浦建設業組合と市が災害に関する協定書を締結しているが、仮設住宅に関することが主となっている。協定書の見直し等について考えを持っているか。  
参加者：協定自体が古いもので、見直しをしましょうという話がある。

もいる。設備を充実させてほしい。  
公園などにもバスケットボールのゴールをつくってほしい。  
市民スポーツ大会などは若者の参加が減ってきているので、ダンスの大会を開催するなど交流の場をつくってほしい。  
図書館では、子供から大人まで誰もが同じ空間にいることから、学習をするのには向いていないと感じている。部屋を区切るなどの工夫をしてほしい。  
学習室として市民センターの一部を開放

### 赤色班

してほしい。  
先生から部活動に対する考え方を話していただいた。生徒に目標を決めさせて部活動をしているという言葉が印象的だった。  
いなりっこやダンスを始めたいきっかけを聞いた。おばあちゃんからの誘いで始めたなど、家庭の影響があるのだなと思った。  
お祭りには人が集まっていた。  
アンケートから  
・ 報告のテーマ「三浦市の災害対策について

きている。改めて市と調整したい。  
議員：地震等により倒壊・転倒する危険のあるブロック塀の調査・撤去・改善のための助成金の制度について、考えを伺いたい。  
参加者：横須賀市には既に助成制度がある。三浦市でも検討をしていると聞くので、議会からも働きかけをお願いしたい。  
議員：議会からも働きかけていきたい。  
議員：公共工事の入札制度の改善として、下請けに地

元業者を使ってほしいという要望をしていたが、市の回答はどうだったのか。  
参加者：市としては、



災害時における協働体制は

努力して地元を使うようにという指導をしているとのことだった。  
議員：認定職業訓練校の補助について、考えを伺いたい。  
参加者：三浦半島建築高等職業訓練校には、九万一千円の補助もらっている。後継者育成では、大工さんに興味を持ってもらう取り組みとして、小学校で親子木工教室の開催を検討している。  
アンケートから  
・ 議員の皆さんによる運営・説明がなされておられ、とても素晴らしい取り組みだと思えました。ぜひ継続を！

て」は、子供たちも昨今の災害の影響で関心を持っている分野であり、よかったと思う。内容については少々難しかったと思う。  
共通テーマ(防災)が、中学生向けとしては余り適さなかった。  
会場別テーマである「文化・スポーツ」は、中学生でも話しやすい話題だったと思う。  
どの議員の方も親切にしてくださって、とても意見が言いやす

た。  
議会の総括を行いました。各地区を担当した班の代表者から結果報告を行い、次回開催に向けた協議を行いました。

### 議会報告会の総括

議会運営委員会を開催し、委員以外の議員も出席のもと、議会報告会の総括を行いました。各地区を担当した班の代表者から結果報告を行い、次回開催に向けた協議を行いました。



議員からの報告を真剣に聞く中学生

かった。  
議会について、身を持って知ることができた。



# 議会を傍聴しませんか

平成 31 年第 1 回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

月 日	曜日	会 議 名 等
2月18日	月	招集告示
20日	水	議会運営委員会（日程・審議方法等決定）
25日	月	本会議（施政方針）
26日	火	本会議（一般質問）
27日	水	本会議（一般質問）
28日	木	本会議（一般質問）
3月1日	金	総務経済常任委員会
4日	月	都市厚生常任委員会
6日	水	予算審査特別委員会
7日	木	
8日	金	
12日	火	
13日	水	上水道事業に関する特別委員会 三浦国際市民マラソン事業に関する調査特別委員会
14日	木	
19日	火	本会議（委員長報告・採決）

※今定例会で審査する請願・陳情の提出期限は2月19日(火)です。

◆三浦市議会の本会議及び委員会は公開されていますので、自由に傍聴することができます。傍聴を希望する方は、市役所本館4階の受付で、傍聴人受付簿に住所、氏名、年齢を記入してください。

◆お問い合わせは議会事務局へ  
電話 046-882-1111 内線462・463

## 全員協議会を開催

三浦国際市民マラソンに係る市職員の不祥事に関連して、十一月二十八日に全員協議会を開きました。

この中では、元三浦国際市民マラソン企画実行委員会事務局長の職員を懲戒免職処分としたことや処分理由の詳細等について説明がされました。  
【質問】 二千八百万円を超える使途不明金が明らかになったが、今後の調査・捜査で、さらに額がふえることもあるのか。

【市長】 可能性は否定できないと思っっている。

【質問】 当該職員の上司や部下など、関係職員の処分は。

【市長】 警察の捜査も踏まえ、市の処分基準にのっとりて処分を行う考えである。

【意見】 使途不明金の内訳等について、資料の提出を求めたい。

【意見】 今後も対応ができるように、本件に関する特別委員会の設置を提案したい。

## 三浦国際市民マラソン事業に関する調査特別委員会

十二月十四日の定例会最終日に、「三浦国際市民マラソン事業に関する調査特別委員会」を設置しました。

この委員会は、平成三十年八月に公表された、三浦国際市民マラソン企画実行委員会事務局における不適切な支出処理及び使途不明金に関し、議会として調査を行うことを目的としています。  
正副委員長及び委員には、次の八人が選任されました。

- 委員長 草間道治
- 副委員長 小林直樹
- 委員 石橋むつみ
- 委員 寺田一樹
- 委員 神田真弓
- 委員 出口正雄
- 委員 藤田昇
- 委員 出口真琴

○十二月二十六日に一回の委員会が開かれ、全員協議会で要求のあった資料が提出されるとともに、関係した職員の一部に対し、処分を行ったことが説明されました。

## 本会議での議案等の審議結果

### 〈全員賛成で議決した議案〉

#### 【議案】

- 第64号 三浦市民交流センター条例
- 第65号 三浦市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 第66号 三浦市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
- 第67号 三浦市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
- 第68号 三浦市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 第69号 三浦市漁港管理条例等の一部を改正する条例
- 第70号 三浦市道路占用料条例等の一部を改正する条例
- 第71号 三浦市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

- 第72号 工事請負契約の締結について
- 第73号 平成30年度三浦市一般会計補正予算（第3号）
- 第74号 平成30年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 第75号 平成30年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）
- 第76号 平成30年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 第77号 平成30年度三浦市市場事業特別会計補正予算（第3号）
- 第78号 平成30年度三浦市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

#### 【諮問】

- 第3号 人権擁護委員の推薦について

### 〈賛否が分かれた議案〉 ○賛成 ●反対

番号	件名	審議結果	みうら市政会					日本共産党			公明党	自由民主党	無所属		
			岩野 匡史	長島満理子	神田 真弓	出口 真琴	草間 道治	布川 照美	石橋むつみ	小林 直樹	藤田 昇	出口 正雄	下田 剛	木村 謙蔵	寺田 一樹
【決議案】 第3号	木村謙蔵議員に対する遺憾決議	原案可決	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※2	●

※1 議長は表決に加わらない ※2 除斥

除斥(じょせき)…議会における審議を公正なものとするため、議題となった案件と一定の利害関係がある議員をその審議に参加できないように退席させること